

おうちのかた向け



『海のアトリエ』

堀川 理万子/著 偕成社

おばあちゃんの家にある、女の子の絵。そこから語られる、おばあちゃんが子供だった頃の特別な思い出。訪れる新しい出会い、さまざまな体験が、「だれでもない、ここにしかない、あたし」へと繋がっていきます。優しい言葉と絵がとても印象的です。大切な思い出を振り返り、誰かに話したくなる絵本です。



『トラネコボンボンのお料理絵本』

中西 なちお/著 白泉社

トラネコのシェフ、ボンボンと、動物たちが作った料理の数々。心温まるおはなしの延長線上で紹介される料理は、どれも素敵でおいしそうなものばかりです。「暮らすこと」と、「食べること」の繋がり、そしてその営みの大切さを実感します。今夜はおうちで、ボンボンおすすめの一品を作ってみるのはいかがでしょう。

たからもののあなた

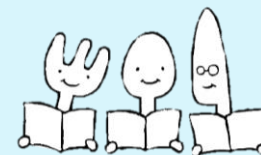


『たからもののあなた』

まつお りかこ/作、絵 岩崎書店

こうさぎフウのお母さんは、家事に仕事に大忙し。そんなお母さんを喜ばせたいフウですが、うまくいかなくて…。泣き出すフウをぎゅっと抱きしめて、お母さんが伝える、「だいすき」の気持ち。一緒にいない時間、お母さんもフウと同じ思いでいることに気がきます。思い合い、伝え合うあたたかさに満ちた物語。

2024 SUMMER



おすすめの 絵本

燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ
おすすめの絵本をご案内します。



本の検索や予約
図書館ホームページ



イベント情報
X (旧 Twitter)



電子書籍
電子図書館



赤ちゃんにおすすめ絵本
燕市ホームページ

お問い合わせ 燕市立図書館 0256-62-2726 吉田図書館 0256-92-7650 分水図書館 0256-91-3255

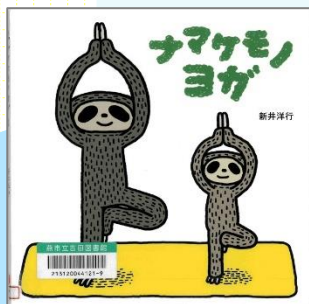
0~2 さい向け



『えだまめ』

こが ようこ//ぶん、え 大日本図書

文をそのまま読むだけでお子さんへの語りかけができる、「語りかけ絵本」。語りかけのヒントも書かれており、読み聞かせが初めての方にもびったり。「ピュッ」っと飛び出たえだまめを、「パクッ」っと食べれば「あー、おいしい!」。「ピュピュピュッ」「パクパク」という音の繰り返しも楽しめます。



『ナマケモノヨガ』

新井 洋行//作 ポプラ社

親子で始めるナマケモノヨガ。体が硬くなってしまった大人でも、ヨガが初めてのお子さんでも大丈夫。ナマケモノでもできるナマケモノヨガだから、ゆったり挑戦できるのも魅力です。おすわりやたっちができるお友達はもちろん、ねんねの赤ちゃんも、おうちの人と一緒にだっこで参加しちゃおう!

ぱん だいすき



『ぱんだいすき』

征矢 清//ぶん ふくしま あきえ//え 福音館書店

食パン、クロワッサン、あんぱんなど、ずらっと並んだおいしいようなパン。ページを開くだけで、おいしい香りに包まれたパン屋さんに来た気分です。ふわふわ、サクサク、絵から食感までも伝わってきます。最後は、お気に入りのパンを並べて「いただきますーす。」お子さんと食べる真似をして楽しんで下さい。

3~5 さい向け



『じっとみるの』

たちばな はるか//作 岩崎書店

ビー玉、ゼリー、そしてパンの中…。心も体もすーっとその「中」へ誘われる不思議な絵本。静かに絵を見つめ、そのきらめき、香り、感触を思い描くと、本当にその世界へ降り立ったような気持ちに。「パンのふとんでおねぼう」なんて、夢のようですね。美しく写し出された景色の虜になります。



『ポストがぼつん』

北川 チハル//文 小池 アミイゴ//絵 アリス館

長い間使われず、眠りについていたポスト。動物たちが手紙を入れたことをきっかけに目を覚まし、その思いを届けるべく森へ、砂漠へ、海へ…! 思いを伝え合うことの大切さと、それを繋ぐ存在の尊さを感じる物語です。ポストの表情もかわいくて魅力的。読んだあとは、誰かにお手紙を書いてみたくなります。



『シルクハットぞくはよなかのいちじにやってくる』

おくはら ゆめ//作 童心社

みんなが寝静まった真夜中、「シルクハットぞく」が行う大事な仕事とは…? 「よなかのいちじ」という言葉の少し怖い雰囲気とは裏腹に、彼らのお仕事は、優しさに満ちています。そのお仕事は何なのかは、絵本を読むまでのお楽しみ。今夜もみんなの枕元に、「シルクハットぞく」が来ているかも?